

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名		交通安全対策協議会運営費		部課名	土木部管理計画課	課長名	藤嶋敏夫
				担当者名	山口創四	内線	2712
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）		交通安全対策協議会運営費（ 3 1 - 7 0 - 2 5 - 0 1 ）					
事務事業の種類		○ 新規事業 （ ○ 19年度 ○ 18年度 ）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業	
開始年度		● 昭和 ○ 平成 40 年度		根拠	交通安全対策基本法・荒川区交通安全対策協議会規程		
終期設定		○ 有 ● 無 年度		法令等			
実施基準		● 法令基準内 ○ 都基準内 ○ 区独自基準			計画区分	○ 計画	● 非計画
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]					
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]					
	施策	交通安全対策の推進[11-06]					
目的	区内の警察署・交通安全協会・関係機関・民間団体等が相互に協力体制を確立し、交通安全に関する総合的な施策を協議するとともに、効果的に交通安全運動を推進するため、交通安全対策協議会を設置している。						
対象者等	区民						
内容	・ 毎年、春と秋に交通安全対策協議会を開催し、交通安全運動の重点や交通安全対策等について協議し、決定。 ・ 協議会は35人の委員（学識経験者・民間団体関係者・関係行政機関職員）で構成。委員のうち、学識経験者（議員）6人と民間団体関係者15人の計21人には委員報酬（@6,900）を支給。 ・ 協議会幹事会は24人（関係行政機関職員）の幹事で構成。						
経過	交通安全に関する施策の指標として、交通安全対策基本法第26条により、昭和46年以降荒川区交通安全計画を策定し、長期的かつ総合的な施策を講じている。 なお、荒川区交通安全計画は東京都交通安全計画に基づいて作成している。 第一次計画（S46～50） 第二次計画（S51～55） 第三次計画（S56～60） 第四次計画（S61～H2） 第五次計画（H3～7） 第六次計画（H8～12） 第七次計画（H13～17） 第八次計画（H18～22）						
必要性	関係機関・団体等が相互に連携し、それぞれの所管及び地域実態に応じて交通安全運動の必要性等について協議し、全ての交通参加者がそれぞれの立場で相互理解を深めつつ、創意工夫を凝らした取組を実践し、交通安全運動が区民総ぐるみの運動とする上で重要な会議団体である。						
実施方法	（ ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ） （ 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ） ・ 協議会は年2回（春・秋）開催 ・ 幹事会は必要に応じて開催（平成10年度～平成18年度は未開催、平成19年度も開催予定なし）						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)								
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
	予算額	274	303	303	302	302	302	302	
	決算額（19年度は見込み）	224	224	224	252	252	244	302	
	人件費					1,724	1,708		
	【事務分担量】（％）					20%	20%		
	合計（ ＋ ）	224	224	224	252	1,976	1,952	302	
	国（特定財源）								
	都（特定財源）								
その他（特定財源）									
	一般財源	224	224	224	252	1,976	1,952	302	
	実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
		協議会開催（回）	2	2	2	2	2	2	
		幹事会開催（回）	0	0	0	0	0	0	

事務事業分析シート（平成１９年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報酬	委員報酬	290	委員報酬	235	委員報酬	290
	食糧費	会議食糧費	10	会議食糧費	9	会議食糧費	10
	使用料及	会議会場使用料	2	会議会場使用料	0	会議会場使用料	2

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	委員の協議会出席率（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	出席者数 / 委員数

（問題点・課題） （指標分析）	区内の交通事故発生件数は、平成８年から年間概ね５００件前後を推移していたが、平成１１年に７０１件、平成１２年には９０９件、平成１３年には９４８件と増加傾向に転じた。その後、平成１４年は９３４件、平成１５年は９３１件、平成１６年は９１０件、平成１７年は９１１件と僅かながらではあるが、減少傾向にある。また、自転車による事故が事故件数全体の約半数を占めている。						
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）						

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	高齢化社会の到来を見据えた「高齢者の交通安全の確保」、区内の交通事故の半数を超える「自転車の交通事故」の減少について、区報でのPR、自転車運転免許講習会の開催等を通じて交通事故の減少に取り組んでいく。	自転車事故（高齢者の事故を含む）の減少、ひいては交通事故の減少

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	交通安全に関する総合的施策を審議する重要な協議会

況議 （要 質 問 旨 状）	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成１９年度）

No1

事務事業名	交通安全協会補助	部課名	土木部管理計画課	課長名	藤嶋敏夫
		担当者名	山口創四	内線	2712
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	交通安全協会補助（３１－７０－５０－０１）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成 62 年度	根拠	荒川区交通安全協会補助金交付要綱		
終期設定	○ 有 ● 無 年度	法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画	
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]			
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]			
	施策	交通安全対策の推進[11-06]			
目的	区内の交通安全を推進するとともに、区民の交通安全意識の向上や交通事故の防止を図るため、日頃から、地域に根ざした交通安全啓発活動を行っている交通安全協会に対して、補助金を交付する				
対象者等	・荒川交通安全協会（会長 富澤一郎） ・南千住交通安全協会（会長 篠田桂一） ・尾久交通安全協会（会長 佐々木豊作）				
内容	交通安全協会は、春・秋の交通安全運動期間を始め、日頃から地域に根ざした交通安全啓発活動を積極的に行っており、これらの活動に要する経費の一部として、荒川・南千住・尾久の交通安全協会に対して補助金を交付する。 活動内容：春・秋の交通安全運動、交通少年団活動、各種交通安全広報など				
経過	・平成１０年度は補助金の見直し（全庁的）により補助金の額は、一律１０％の減。 ・平成１２年度は補助金の見直し（全庁的）により補助金の額は、荒川交通安全協会が５．６％、南千住交通安全協会及び尾久交通安全協会が各５．２％の減。				
必要性	区内の交通事故発生件数は減少傾向にあるが、これは交通安全協会を中心とする関係機関や団体等の交通安全に対する熱心な取組の成果である。しかし、区内では依然として交通事故が多く発生しており、今後更に区民に対する交通安全意識の向上や交通事故を防止し、区民生活の安全を確保するうえで重要な事業である。				
実施方法	（ ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ） （ 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ） 各交通安全協会の補助金交付請求に基づいて交付している。				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920
	決算額（19年度は見込み）	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920	3,920
	人件費					862	854	
	【事務分担量】（％）					10%	10%	
	合計（＋）	3,920	3,920	3,920	3,920	4,782	4,774	3,920
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	3,920	3,920	3,920	3,920	4,782	4,774	3,920
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	荒川交通安全協会（円）	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
	南千住交通安全協会（円）	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280
	尾久交通安全協会（円）	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金補	交通安全協会補助	3,920	交通安全協会補助	3,920	交通安全協会補助	3,920

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	荒川交通安全協会（人）	3,100	3,000	3,000	3,000	3,000	
	南千住交通安全協会（人）	380	290	290	290	300	
	尾久交通安全協会（人）	1,500	1,400	1,400	1,400	1,500	

（問題点・課題）	交通安全協会の会員数は年々減少しており、交通安全対策をより充実させるためには、会員数を増やす必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	春・秋の交通安全運動、区民交通安全のつどい等の啓発活動を積極的に行い、交通安全協会と連携して交通事故を減少させるためにも交通安全協会への加入者の増加に努めていく。	効果的な交通安全活動が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	活動の中心的役割を果たしており、益々の活動が望まれる。

議会議決（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	交通安全啓発費	部課名	土木部管理計画課	課長名	藤嶋敏夫
		担当者名	山口創四	内線	2712
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（19年度）	交通安全啓発費（31 - 70 - 75 - 01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成 37 年度		根拠	交通安全対策基本法	
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等		
実施基準	● 法令基準内 ○ 都基準内 ○ 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画	
行政評価 事業体系	分野	安全安心都市[]			
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]			
	施策	交通安全対策の推進[11-06]			
目的	(1) 啓発活動 春・秋の交通安全運動期間をはじめ、平素から交通安全運動を円滑に実施できるよう、町会等に啓発用品を配布するほか、各種の交通安全啓発活動に参加された区民に啓発用品を配布し、交通事故防止を呼びかける。 (2) 自転車運転免許証制度 「あらかわの心」推進運動の中のきまりを守るうの具体的な取組として、安全な自転車の乗り方や交通ルール、自転車マナーを学ぶことにより、自転車による交通事故を防止し、社会ルールを守る地域社会を実現することを目的とする。				
対象者等	(1) 啓発活動 町会・保育園児・幼稚園児・新入学児童等 (2) 自転車運転免許証制度 区内在住、在勤、在学の小学4年生以上の方				
内容	(1) 啓発活動 春・秋の交通安全運動、T O K Y O交通安全キャンペーン、荒川区民交通安全のつどい、交通安全キャンペーン、交通安全日（毎月10日）の広報啓発活動等 (2) 啓発用品の配付 ・警察署・・・・・・・・横断幕・懸垂幕、リフレクター（反射材）、反射リストバンドなど ・町会・・・・・・・・懸垂幕、黄色帽子、サンバイザー、横断用手旗、たすき、腕章、合羽、笛など ・幼・保育園児・・・・交通安全ぬりえ ・新入学児童・・・・ランドセルカバー、反射巾着袋 (3) 自転車運転免許証制度 小学4年生以上を対象に講習会（講義・筆記（学科）試験・実技講習）を開催し、小・中学生には運転免許証を、高校生以上には講習修了証を交付。 自転車安全運転見守り隊による交通ルール・マナー等の啓発活動を実施し、自転車ルール・マナー向上運動を展開。				
経過	・平成14年度・・・・・・・・自転車免許講習会を38回開催（参加者1,303名） ・平成15年度・・・・・・・・自転車免許講習会を45回開催（参加者1,199名） ・平成16年度・・・・・・・・自転車免許講習会を37回開催（参加者1,262名） ・平成17年度・・・・・・・・自転車免許講習会を38回開催（参加者810名） ・平成18年度・・・・・・・・自転車免許講習会を32回開催（参加者872名）				
必要性	区民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、区民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図る上で重要な事業である。				
実施方法	（ ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ） （ 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 ） (1) 春・秋の交通安全運動期間の前や各種交通安全啓発活動を実施する際に、警察署からの要望や町会に対する意向調査に基づき啓発用品を配付。 (2) 自転車運転免許講習会は、毎月害3土曜日に荒川自然公園交通園で開催している。また、学校においては交通安全教育の授業やチャレンジサタデースクール等の時間を活用して実施。				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	3,844	5,276	5,670	6,208	5,540	5,458	5,211
	決算額（19年度は見込み）	3,386	4,935	4,300	5,149	4,316	3,884	5,211
	人件費					8,416	13,664	
	【事務分担量】（％）					170%	160%	
	合計（＋）	3,386	4,935	4,300	5,149	12,732	17,548	5,211
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	3,386	4,935	4,300	5,149	12,732	17,548	5,211
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	自転車免許講習会（回数）				37	33	32	
	自転車免許講習会（参加者数）				1,262	731	872	

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	食糧費	会議食糧費	12	会議食糧費	0	会議食糧費	12
	一般需用費	啓発用品等購入費	3,869	啓発用品等購入費	3,479	啓発用品等購入費	4,269
	役務費	懸垂幕掲示手数料	153	懸垂幕掲示手数料	21	懸垂幕掲示手数料	42
	委託料	免許証作成委託料	1,205	免許証作成委託料	245	免許証作成委託料	560
	使用料及	交通安全つどい会場使用料	148	交通安全つどい会場使用料	139	交通安全つどい会場使用料	148
	備品購入費	映画フィルム購入費	153	映画フィルム購入費	0	映画フィルム購入費	180

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	交通事故件数(自転車事故)	910 (466)	911 (480)	820 (459)	800 (400)	720 (360)	交通安全運動を積極的に実施し、交通事故を減少させる
	交通安全運動参加者(人)	4,157	3,609	2,975	3,500	8,000	交通ルール・マナーの向上、そして啓発活動の充実
	自転車免許講習会参加者(人)	1,262	810	872	1,000	1,300	自転車免許講習会参加者の拡大を図る(現在累計約4,500人)

(問題点・課題分析)	(1) 啓発活動 効果的に交通安全啓発活動を推進するとともに、活用される啓発用品を配付する必要がある。
	(2) 自転車運転免許証制度 区内の小学校においては、安全教育の授業の一環として殆どの学校で実施されているが、未だ受講していない児童や生徒がいる。 区民の講習会への参加率が少ない。 自転車安全運転見守り隊の活動が停滞している。
他区の実施状況	(実施 8 区 未実施 14 区) ・平成15年度 板橋区 ・平成16年度 文京区、世田谷、足立区、葛飾区 ・平成17年度 渋谷区、練馬区、江戸川区 自転車運転免許証講習会

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	区内小中学校の児童・生徒及び保護者に自転車免許講習会への参加を呼びかける。	小中学生の自転車事故の減少が期待できる。
	区報等を通じて一般区民の講習会への参加を呼びかける。	一般区民の自転車事故の減少が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	常に、区民に対してルール・マナーの遵守を訴えていく。

議会質問状況(要旨)	○H10年一定 交通事故対策と事故マップの作成、学校周辺道路の安全点検と対策 ○H11年三定 チャイルドシート着用義務化に伴う普及促進(普及啓発 公的助成 レンタル・リサイクル制度の確立) ○H12年三定 関係行政機関との協力体制の強化、事故件数4割を占める自転車利用者の安全教育 ○H15年四定 自転車運転免許証講習会の受講者の拡大 ○H17年三定 自転車事故について学校、幼稚園、保育園の保護者に対する啓発、ヘルメット着用、保険の必要性及び尾竹橋通りの路上駐車対策
------------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	荷さばき駐車場設置費		部課名	土木部管理計画課	課長名	藤嶋敏夫
			担当者名	山口創四	内線	2712
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	荷さばき駐車場設置費（31-94-50-01）					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 19年度 ☐ 18年度） ☐ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業					
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成 18 年度		根拠	荒川区「荷さばき駐車場」設置要綱		
終期設定	☐ 有 ☐ 無 年度		法令等			
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分	☐ 計画 ☒ 非計画	
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]				
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]				
	施策	交通安全対策の推進[11-06]				
目的	道路交通法の改正による駐車違反の取締り強化に伴い、集配業務等を営んでいる区内事業者や福祉・介護サービス等に従事している者の荷さばき等を行うスペースを確保するため、「荷さばき駐車場」を設置し、集配事業者等が円滑な事業運営が出来るよう支援することを目的とする。					
対象者等	・集配業務等に従事している事業者で「荷さばき駐車場」を必要とする者 ・福祉・介護サービス等に従事している者で「一時駐車」を必要とする者					
内容	集配事業を営む区内中小零細事業者、福祉・介護サービス等に従事している方が抱えている問題を少しでも解決するため、平成18年度に駐車スペースのある区施設（16箇所）に設置した。平成19年度は民間駐車場等に10箇所の「荷さばき駐車場」を設置を予定している。 利用時間 30分未満 無料					
経過	道路交通法一部改正（平成18年6月1日から施行）により、荷物の積み降ろしなどで短時間の駐車をした場合でも駐車違反の取締りの対象となるため、平成18年10月から区施設に16箇所の荷さばき駐車場を設置した。					
必要性	区内中小零細運送事業者等が円滑な事業運営をするため必要である。					
実施方法	（ ☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託） （直営の場合 ☒ 常勤 ☐ 非常勤 ☐ 臨時職員）					

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額							2,699
	決算額（19年度は見込み）							2,699
	人件費						854	
	【事務分担当】（％）						10%	
	合計（＋）	0	0	0	0	0	854	2,699
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	0	0	0	0	854	2,699
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	荷さばき駐車場設置数（公共）						16	-
	荷さばき駐車場設置数（民間）						-	10

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
						駐車場賃借料	2,400
						看板・標識	299

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
		荷さばき駐車場設置箇所累計	-	-	16	26	-	設置箇所累計

（問題点・課題）	・集配事業を営む区内中小事業者、福祉・介護サービス等に従事している方が抱えている問題を解決するために設置したが、専任の管理人がいないため、利用者の実態や利用者数等が把握できない。
他区の実況	（実施 0 区 未実施 22 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	平成19年度の利用実態を把握し、今後の方向性を決定する。	区内配送業者等利用者のニーズにあった設置場所や利用しにくい設置場所が判る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
-	A	利用実態を把握し、ニーズにあった設置を進めるとともに、使用にあたってのルール・マナーの遵守を図っていく。

（状況）	
------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	交通安全施設整備費		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄	
			担当者名	尾下 要	内線	2738	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	交通安全施設整備費（32-77-14-01）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	● 昭和 ○ 平成 28 年度		根拠	道路法、道路交通法			
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等				
実施基準	● 法令基準内 ○ 都基準内 ○ 区独自基準			計画区分	○ 計画 ● 非計画		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]					
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]					
	施策	交通安全対策の推進[11-06]					
目的	区民を交通事故から守ることを目的とする。						
対象者等	区道及び区が管理する道路						
内容	- すべり止め舗装 警察からの要望に基づき、道路の交差点や坂道部分にすべり止め舗装を行う。 なお、特に夜間危険な箇所については、車のライト等により発光する材料を使用した高輝性骨材舗装（キララ舗装）を行う。 - 区画線標示 人と車の通行区分を明確にするため、警察からの要望を受けて現況を調査し、区画線（外側線）を設置する。 - 通学路標示 教育委員会が指定した通学路にグリーン標示を行う。						
経過	昭和28年度より実施						
必要性	区民を交通事故から守るために交通安全施設を整備することが必要不可欠である。						
実施方法	（○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託） （直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） <18年度> ・すべり止め舗装（すべり止め舗装:502㎡、キララ舗装:152㎡） ・区画線標示（外側線:3,173m、中央線:1,241m 他） ・通学路標示（グリーンペイント:158㎡ 他）						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	6,075	6,878	6,510	12,675	12,169	12,077	12,035
	決算額（19年度は見込み）	5,040	6,720	6,273	12,561	11,865	11,550	12,035
	人件費					7,757	3,416	
	【事務分担当】（％）					90	40	
	合計（＋）	5,040	6,720	6,273	12,561	19,622	14,966	12,035
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	5,040	6,720	6,273	12,561	19,622	14,966	12,035
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	すべり止め舗装(㎡)	481	633	550	199	340	654	500
	区画線標示(m)	3,264	2,644	1,886	2,203	3,807	4,414	2,500
	通学路標示(㎡)	563	596	384	648	826	158	600

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	交通安全施設整備費	11,865	交通安全施設整備費	11,550	交通安全施設整備費	12,035

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標	すべり止め舗装面積(m ²)	119	340	654	500	—	施工実績
	区画線標示延長(m)	2,203	3,807	4,414	2,500	—	施工実績
	通学路標示面積(m ²)	648	826	158	600	—	施工実績

（問題点・課題） （指標分析）	・巡回等によって経年劣化が著しい箇所の把握に努めているが、それ以外にも地元や警察、教育委員会からの設置要望が多数寄せられている。 ・交通量の多い交差点付近においては消耗度が高い。						
	（実施 22 区 未実施 区）						

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	設置要望箇所における事故発件数等の優先性を判断のうえ、警察とも連携しながら施工する。	交通事故の防止が期待できる。
	従前施工箇所の経年経過状況を調査して、その消耗度が著しい交差点を重点的に整備する。	交通事故の防止が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	区民の交通安全を確保するための整備費（すべり止め舗装、区画線標示、通学路標示）である。

（状況） （要質問） （議） （会） （質） （問） （状）	
--	--

事務事業分析シート（平成１９年度）

No1

事務事業名	交通安全資材		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄	
			担当者名	武藤利夫	内線	2732	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	交通安全資材（３２－７７－２８）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	● 昭和 ○ 平成 45 年度		根拠	道路法			
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等				
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準			計画区分	○ 計画 ● 非計画		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]					
	政策	防災・防犯のまちづくり[11]					
	施策	交通安全対策の推進[11-06]					
目的	カーブミラー、標識及びガードパイプ等の整備により道路の機能性を維持する。						
対象者等	道路利用者						
内容	区民や警察からの陳情・要望に基づき、直営で設置するカーブミラー、標識及びガードパイプ等を購入する。 平成１８年度末直営工事による防護柵等累積設置実績 ガードレール 2, 3 5 6 m カーブミラー 1, 5 7 3 面 ガードパイプ 1 0, 2 3 0 m 標識設置等 2 3 5 ヲ所						
経過	必要量の交通安全資材（ガードパイプ・カーブミラー・標識等）を購入する。						
必要性	交通事故から人命等を保護するために必要である。						
実施方法	（ ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ） （直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） 必要量の交通安全資材（ガードパイプ・カーブミラー・車止め・標識等）を購入する。						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	915	870	835	4,641	4,455	4,455	4,237
	決算額（19年度は見込み）	813	862	793	4,135	3,136	3,026	4,237
	人件費					517	119	
	【事務分担当】（％）					6%	5%	
	合計（＋）	813	862	793	4,135	3,653	3,145	4,237
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	813	862	793	4,135	3,653	3,145	4,237
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	ガードパイプ購入 (m)	54	92	148	68	94	8	
	ミラー購入数 (個)	121	122	101	91	70	72	
	ミラー支柱購入数 (本)	60	55	49	30	40	20	
	標識購入数 (個)	65	93	100	105	0	0	
	標識支柱購入数 (本)	55	29	10	30	0	1	

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	原材料	交通安全資材購入	3,136	交通安全資材購入	3,026	交通安全資材購入	4,237

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標		ガードパイプ新設	34m	48m	8m	-	-	
		カーブミラー新設	32箇所	25箇所	72箇所	-	-	

（問題点・課題分析）	早急な対応（復旧、新設等）をするために、資材置き場に多くの種類の資材を備えておく必要がある。							
	他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）						

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	交通安全資材の在庫確認と計画的な購入計画の策定	必要量に見合った交通安全資材の購入

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	道路安全確保のための資材費（カーブミラー・防護柵・標識等）

議会議決要旨	
--------	--